

例 言

1. 本書は、2019年度に京都府立大学文学部歴史学科の教員や学生がおこなったフィールド調査、およびそれに関連する研究、ならびに調査研究成果の活用についての概要報告集である。
2. 第Ⅰ部には、京都府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）をはじめ、京都府内において歴史学科教員が中心となって実施したフィールド調査の概要を報告する。なお、複数年度にまたがる研究課題については、2019年度以前の調査成果もあわせて収録している。
3. 第Ⅱ部は、京都府外の地域を対象に、科学研究費補助金の研究課題や受託研究、実習授業などの一環として歴史学科の教員と学生が中心となって実施したフィールド調査の概要を収録した。
4. 第Ⅲ部には、京都府立大学文学部歴史学科が中心となって進めている京田辺市史、和束町史の編さん事業に関わる調査の速報を収録した。2017年度より京田辺市とは京田辺市史編さんに関わる「連携協力に関する覚書」を、和束町とは和束町史編さんに関わる「連携協力包括協定」をそれぞれ締結している。
5. 第Ⅳ部には、福井県三方郡美浜町において実施した、文化遺産学フィールド実習（2019年8月）の成果の一部を収録した。文化遺産学フィールド実習は、文化遺産の調査、保全、活用などについて、実際に現地を訪れて学習する実習科目で、おもに学部2回生を対象としている。
6. 本号の編集は諫早直人が担当した。